

マメコガネ

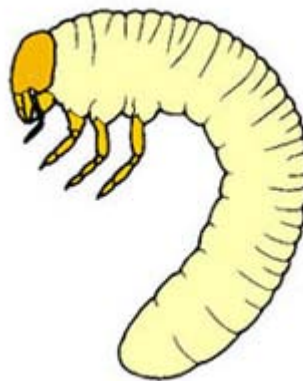
6～8月に出現するコガネムシ。最大長約10mm。多発するとバラ，サクラ，ブドウなどの広葉樹の葉や花を食い荒らす。

幼虫は芝などの根を食べるイモムシ。体はC字形，白から黄色。最大長約20mm。芝の成長に悪影響を与えるほか，カラスが幼虫を食べるため芝をはがすことがある。

ブドウやダイズなどの農業害虫としても知られている。



1. 成虫，体長9mm，1999/7/7，
美唄市，庭のチシマザクラ。



2. コガネムシ幼虫概略図。

【学名】 *Popillia japonica*

【分類】 甲虫目 (Coleoptera) ， コガネムシ科 (Scarabaeidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州。

【生態】

成虫はブドウやバラの他に，クリ，サクラ，フジ，ニセアカシア，ハギなどの葉を食べる。バラ，ハマナス，ハギ，フジでは花も食べられる。

年1回発生。幼虫越冬。春に地中で蛹になる。蛹は6～7月にコガネムシになる。天気の良い日に葉や花に群がり，食害する。

【防除】

6～7月に木を見回り，コガネムシを捕まえて駆除する。

芝に被害が発生し薬剤による駆除が必要と判断される場合は，コガネムシ用に登録されている農薬を散布する。薬剤は取扱説明書に従って使用すること。薬剤散布にあたっては通行人や近くの住民らに十分配慮すること。

seichu.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1999.

yochuzu.JPG

「図2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.